

髪・頭皮・肌に
1本でいろいろ使える
大島椿の使い方

椿油100%、いろいろ使える「大島椿」



髪に

枝毛を防いで、
まとまりのある髪に
洗い流さないトリートメント

頻 度	毎日
使用量	ショート ～1滴 セミロング 1～2滴 ロング 2～3滴
1滴ずつ手のひらに出し、「足りないかも?」と感じる位の少量から試してください。量が多いと重い仕上がりになります。髪質によって使用量は個人差があります。	

- ① 洗髪後、髪をタオルドライします。
- ② 手のひらに大島椿を1滴出し、よくのばします。

ポイント1 少量で効果を実感できるので1滴から試してください。

ポイント2 手のひら全体から指先、指と指の間にもよくのばします。

- ③ 手グシで髪全体にうすくつけます。
- ポイント3 1ヶ所につけすぎないように、必ず手グシでつけてください。
- うすくつけるコツ
- 内側の髪の間隔位から毛先に向けて、手グシを動かします。表側も手グシを使って、毛先を中心につけます。
 - 最後に手のひらに残ったオイルを、トップに軽くなでるようにつけます。
- ④ ドライヤーで乾かします。
- ※乾かした髪の状態を確認して、使用量を調節してください。

広がりをおさえたい髪に
しっとりまとまり、つやのある髪に
スタイリング

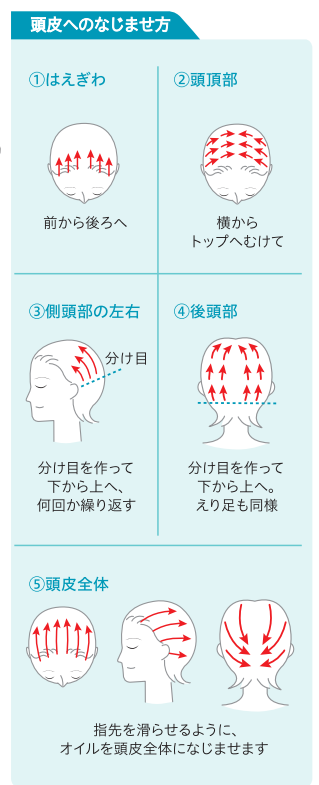
- 頻 度 毎日
- 使用量 1滴～
- 1滴ずつ手のひらに出し、「足りないかも?」と感じる位の少量から試してください。量が多いと重い仕上がりになります。髪質によって使用量は個人差があります。
- 使い方のポイントは「洗い流さないトリートメント」②、③と同様です。
- ① 手のひらに大島椿を1滴出し、よくのばします。
 - ② 手グシで髪全体にうすくつけます。
 - ③ ブラシ等で髪を整えます。

頭皮に

健康な髪と頭皮のためのデイリーケア
清潔で
うるおいのある頭皮に
頭皮ケア

頻 度	毎日～週1回程度
使用量	5mL～10mL ティースプーン1～2杯程度
健康な髪と頭皮のために、毎日頭皮ケアを続けるのがおすすめです。	

- ① 指先に大島椿をとり、指の腹で、シャンプー前の乾いた頭皮全体に満遍なくやさしくなじませます。
- ポイント 髪ではなく頭皮に大島椿をつけることが重要です。指の腹で、十分な量が頭皮全体に行き渡るようにやさしくなじませます。
- ② 5分程度置きます。
 - ③ ぬるま湯で髪と頭皮をよくすすぎます。
 - ④ シャンプーで頭皮を丁寧に洗います。
- ※泡立ちが良くないと感じるときは、シャンプーの量を少し多めにしてください。内側も丁寧に洗います。
- ※1回のシャンプーで十分ですが、洗い上がりを感じる方は2度洗いしてください。
- ※シャンプー後、お好みでコンディショナーやトリートメントをご使用いただけます。
- ⑤ ドライヤーで乾かします。



肌に

毎日のフェイスクア
負担が少なく、
キレイに落ちる
クレンジング

頻 度	毎日
使用量	10～12滴
使用量はご自分の適量で調節してください。	

- ① 乾いた手のひらに大島椿をとり、顔全体になじませます。
- ※ご使用前に顔や手を濡らさないでください。濡れている場合は水気を拭き取ってからご使用ください。
- ② 目頭から円を描くようにメイクを浮かせます。
- ※特に落ちにくい目のまわりは、再度少量のオイルをつけたし、やさしくなじませます。
- ③ オイルをティッシュオフします。
- ※お肌を強くこすらないでください。
- ④ 洗顔料で洗い、すすいだ後、通常のケアを行います。

椿油は皮脂にも含まれる成分を多く含むため、お肌に自然になじみます。また、酸化しにくく保湿・保護効果に優れているので、水分の蒸発を抑えてお肌のうるおいを保ちます。

しっとりやわらか肌に
オイルパック

頻 度	毎日～週1回程度
使用量	5～6滴
使用量はご自分の適量で調節してください。	

- ① 乾いた手のひらに大島椿をとり、顔全体になじませます。
- ※ご使用前に顔や手を濡らさないでください。濡れている場合は水気を拭き取ってからご使用ください。
- ② 5～10分置きます。
 - ③ オイルをティッシュオフしてから、洗顔料で洗い流します。
- ※お肌を強くこすらないでください。

詳しい使い方・商品情報はブランドサイトをご覧ください。

大島椿ブランドサイト 検索 <https://ost.oshimatsubaki.co.jp>

ご注意

■傷・はれもの・湿疹等、異常のある時はご使用をおやめください。■お肌に異常が生じていないかよく注意してご使用ください。■本品を使用して赤味、はれ、かゆみ、刺激、色抜け(白斑等)や黒ずみ等の異常があらわれた時は、使用を中止し皮膚科専門医等にご相談ください。■目に入らないようにご注意ください。目に入ってしまった場合は、専門医等にご相談ください。■天然成分のため、色の濃淡が生ずることがありますが、品質には問題ありません。■寒冷時に白く濁ったり凍ることがありますが、水分の混入を防ぐためキャップをきちんと閉め、湯せん(40℃以下)をして温めると、もとの状態に戻ります。■品質を保つため、箱に入れて保管してください。■床につくとすべりやすくなりますのでご注意ください。■使用時に容器の口を直接皮膚につけたり、一度取り出した中味を再び容器に戻さないでください。■使用後は、しっかりキャップ(フタ)を閉めてください。■容器の破損にはご注意ください。■乳幼児の手の届かないところに保管してください。■極端に高温・低温の場所は避け、直射日光の当たらない場所に保管してください。